



しめがっし
種月寺

越後曹洞宗四大道場のひとつに挙げられる名刹。文安3年(1446)に、曹洞宗の高僧、南英謙宗が開基。本堂は国指定重要文化財です。火伏せに靈験あらたかで、毎年6月19日には開山忌が行われています。



弥彦山スカイライン

多宝山と弥彦山にまたがって走る、13.7kmのドライブコース。山頂付近には、100mのパノラマタワーなどがある弥彦山頂公園があり、眼下に越後平野、日本海、佐渡島を望めます。ここから、日本海に沈む夕日を眺めるのもおすすめです。



越後七浦観音

越後七浦シーサイドラインの脇に、海を見つめるようにして立つ観音像。海上と地域の安全、魚霊供養などを祈願して建立されたもので、高さ8mのブロンズ製です。毎年6月下旬に、例大祭が開催されています。



和納十五夜まつり

和納で8月上旬に開催されるまつり。新潟市の無形民俗文化財に指定されている「棒遣い」や、「草花火」「仕掛花火」などが披露されます。



岩室



間瀬の白岩

凝灰岩でできた白い岩塊の岬が100m余り海に突き出している白岩。間瀬海岸のシンボルといえる風景です。



夏井のはざ木

夏井には約600本のはざ木が保存されており、米どころ越後平野ならではの、懐かしい風景を留めています。



にしかん
探訪

新潟の奥座敷

風情と情緒が漂う「岩室」地区

しっとりとした風情が漂う岩室温泉をはじめ、数多くの魅力があふれる岩室地区。ここには、穏やかで優しい時間が流れています。

いわむる地区

岩室温泉

開湯300年の歴史を誇る温泉地。江戸時代から北国街道の湯治場として栄え、彌彦神社への参拝客で賑わってきました。別名「霊雁(れいがん)の湯」と呼ばれ、現在、十数軒の温泉旅館が軒を連ねています。平成27年3月から新源泉が供給開始となりました。



丸小山公園

岩室温泉街から徒歩5分ほどの場所にある、緑豊かな公園。遊具で遊べるほか、遊歩道、テニスコート、ゲートボール場も設けられ、市民の憩いの場となっています。一角には、その昔、良寛が岩室を訪れた折に詠んだ歌の碑が建っています。



源泉公園

正徳3年(1713)、庄屋の高島庄右衛門が夢枕で霊泉のありかを伝えられ、傷ついた雁が泉流に浴して傷を癒していたことから源泉を見つけたと伝えられる、岩室温泉の起源。温泉街の端にある源泉発見の地は、ポケットパークとして整備されています。



天神山城址

平安時代後期から鎌倉、安土桃山時代にかけ、天神山に築かれた小国氏の山城。ひょうたん池の跡、土塁や石塁など当時の城跡が残っています。